

介護老人保健施設「えんれい荘」について

■ はじめに

鶴居村支雪裡にある介護老人保健施設「えんれい荘」は、つるい養生邑病院に併設して平成2年に開設し、医療法人資生会によって運営されています。えんれい荘は、利用定員100名の施設であり、村民や村外の多くの高齢者の方々が入所し、医療と介護による心身の機能回復や生活支援のサービスなどが提供されています。

しかし、令和6年9月末につるい養生邑病院の休止に伴って施設管理費が増加し、さらに職員の人材確保や処遇改善のための人件費の引上げ、食品や燃料といった物価の高騰などで支出が増大し、施設運営が大変厳しくなっています。えんれい荘では、経営の改善や入所者の確保などに努力していますが、施設の老朽化に伴う修繕費が増しており、数年先には施設の使用限界を迎える状況に直面しています。

■ えんれい荘について

介護老人保健施設である「えんれい荘」は、原則として要介護1以上の65歳以上の方が入所の対象となり、令和7年6月末の入所者数は96人（村民の入所者は35人）となっています。（下表参照）

えんれい荘では、施設の運営基準に基づき、医師や薬剤師、看護師、介護士、療法士、相談員、栄養士、事務員、調理員などの64名の職員（村民の職員は27名）が働いています。

また、施設介護サービスのほかに、短期入所療養介護（ショートステイ）や訪問リハビリテーションなどの在宅介護サービスも行われています。

えんれい荘の住所地・年齢別の入所者数（令和7年6月末）

	鶴居村	釧路市	標茶町	その他	計
65～69歳	1人	2人			3人
70～79歳	3人	9人	1人	2人	15人
80～89歳	11人	16人	4人	4人	35人
90～99歳	16人	8人	10人	3人	37人
100歳以上	4人	1人		1人	6人
計	35人	36人	15人	10人	96人

※その他は、釧路・根室・十勝管内の8町の入所者となります。



■ 村の経営支援について

村では、本村での安定した施設介護サービスの利用を確保し、高齢者の方々に対する生活上の支援体制を維持するとともに、地域に及ぼす影響や広域的な役割などを考慮して、えんれい荘の経営を支援することを決定しました。

令和7年4月から、えんれい荘の運営費等の不足額に対して一部を補助することとし、令和7年度は3,600万円（月額300万円）を基準額として交付します。

■ 今後の方向について（住民意向調査の実施）

えんれい荘の施設は老朽化が進んでおり、4～5年先には使用の限界が見込まれており、民間事業者による新しい施設の整備などは難しい状況となっています。

本村における今後の施設介護サービスの方向を検討するため、村民皆さんの意向や意見などを把握する調査を予定しています。

調査の時期は、今年の9月以降を予定しており、詳しいことは改めてお知らせします。

■問合先：保健福祉課 0154-64-2116

■ 医療法人資生会について

えんれい荘を運営する医療法人資生会は、千歳市に本部を置き、千歳病院や創成東病院（札幌市）をはじめ、自立訓練施設や複数の介護サービス施設などを運営しています。

本村では、えんれい荘以外に、村立鶴居診療所と鶴居村デイサービスセンター（ほのぼのセンター）を指定管理者として管理運営しています。

また、認知症の初期支援事業、通所介護の配食サービス、介護の認定審査、児童健診や予防接種など、村の介護や医療分野における業務を行っています。